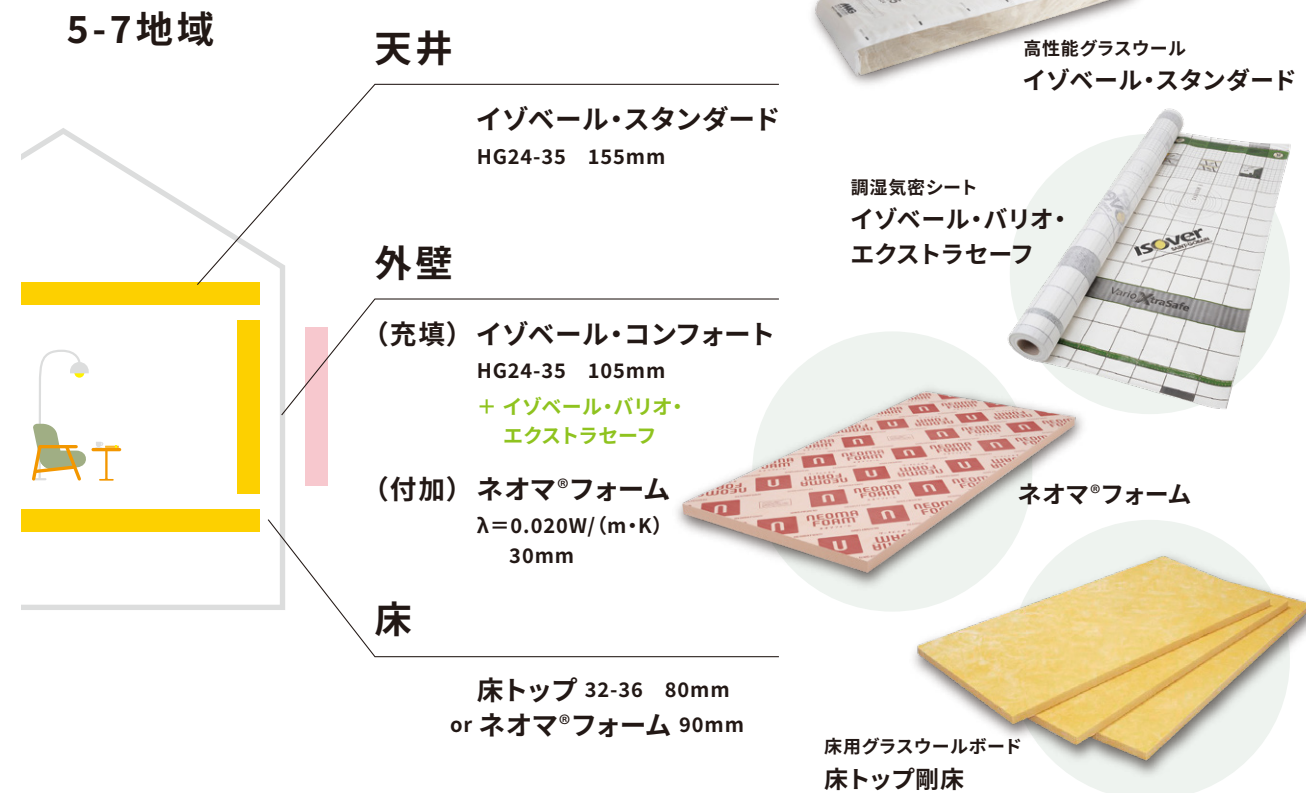


■推奨仕様例



その他の仕様例もご用意しております。くわしくは、各社営業担当までお問い合わせください。

		地域区分							
		1地域	2地域	3地域	4地域	5地域	6地域	7地域	8地域
等級6 ^{プラス} “+” 【目安値】	U _A 値	0.25	0.25	0.25	0.30	0.40	0.40	0.40	—

※等級6^{プラス}“+”は目安値です。住宅の品質確保の促進等に関する法律・住宅性能表示制度の認定、表示の対象ではありません。
※ネオマフォームは旭化成建材株式会社の登録商標です。 ※イゾベールはSaint-Gobain ISOVERの登録商標です。

A RECIPE FOR COMFORTABLE LIVING

住まいの
“快適”レシピ

等級6^{プラス}“+”のすすめ



暮らしの“快適”を 後回しにいませんか？

吹き抜けのあるリビングやスタイリッシュなキッチン、たっぷりの収納に、専用ワークスペース。
マイホームを考えると、これからの“暮らし”に夢が膨らむことでしょう。
しかし、思ったより予算がかさんでいき購入に至るまで、様々な取捨選択が迫られるかもしれません。
それでも、家づくりのなかでおざなりにしてほしくないことのひとつが、住まいの断熱性能です。
24時間×365日、家じゅうが快適な室温で、家族みんなが健康に過ごせる暮らし。
しかも、月々の光熱費を低く抑えられて家計への負担が少なくなるとしたら。
そんな“快適”がずっと続く住まいを手に入れて頂きたいとわたしたちは考えます。
「等級6^{プラス}“+”」。これが、伊藤忠建材、マグ・イゾベール、旭化成建材からのご提案です。

ITOCHU 伊藤忠建材株式会社

MAG **AsahiKASEI**
ISOVER 旭化成建材
SAINT-GOBAIN

問い合わせ先 6plus@ick.co.jp



この先ずっと安心して暮らせる

等級6“^{プラス}”という考え方

2022年、断熱等性能等級の上位等級、等級5・6・7が設定されました。

その中で、わたしたちは「断熱等性能等級6」に注目しています。

なぜなら、“いまの生活”と暖冷房エネルギー消費量がほぼ変わらずに、全館空調で快適に暮らせるから。

(※)断熱等性能等級4相当の住宅(“いまの生活”)で間歇暖冷房を使用した場合と比較した独自シミュレーションの結果より

そんな「等級6」の住まいに、ちょっと“+ (プラス)”

24時間空調×365日快適

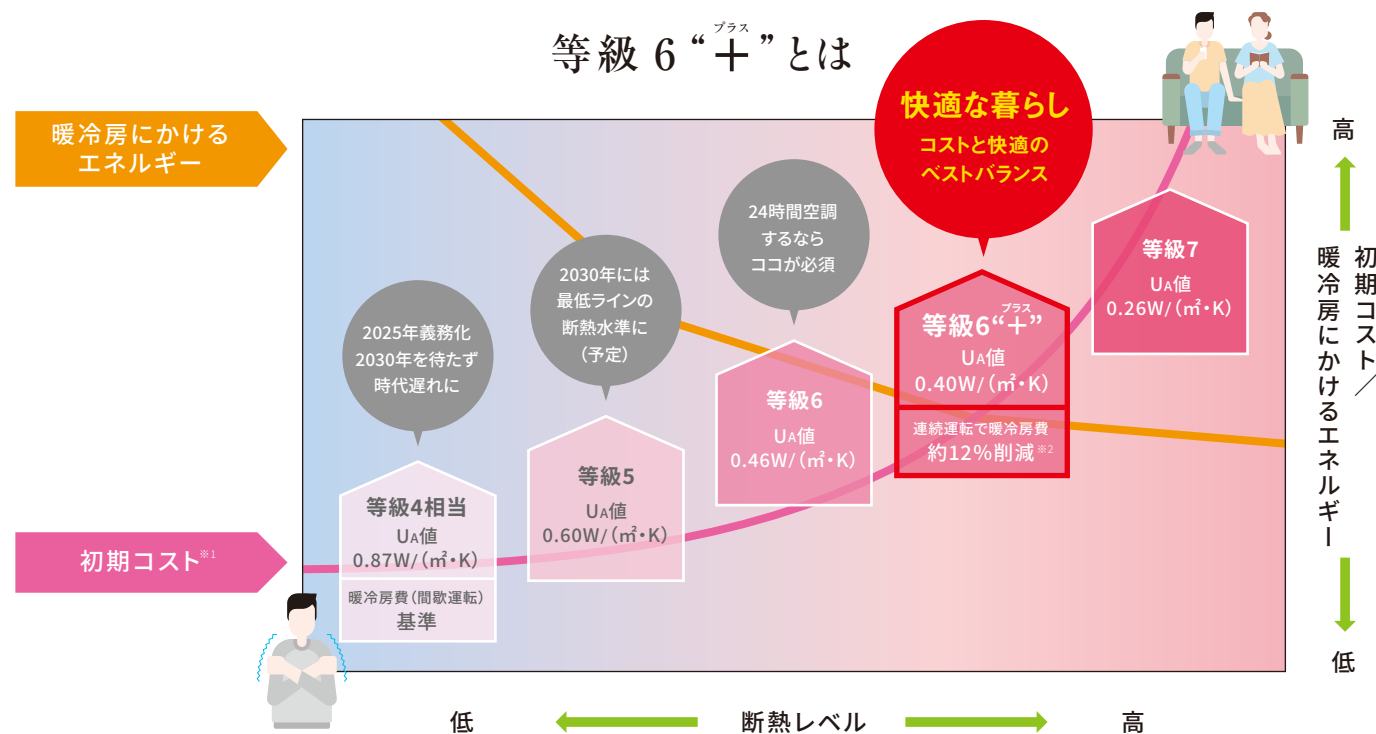
+

より少ないエネルギー消費量

= 等級6“^{プラス}”の快適な暮らし



わたしたちは、『等級6“^{プラス}”』を推奨します



※1「初期コスト」は独自に積算した外皮性能に係る建材コストの合計を基に定性的にグラフ化したイメージ。

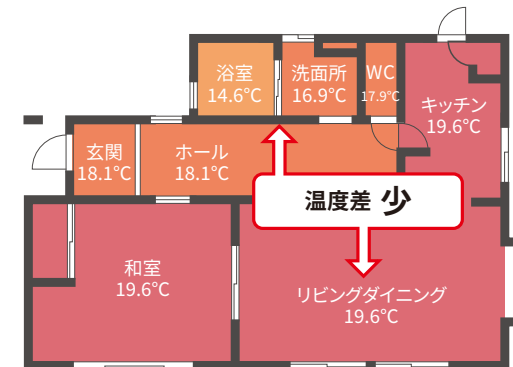
※2 等級6“+”の削減率は、断熱等性能等級4の間歇運転時の暖冷房エネルギー使用量を基準とした場合の、等級6“+”の連続運転の削減率を示す(シミュレーション条件は右項に記載)。

●暖冷房にかかるエネルギーの曲線は、連続運転の場合の暖冷房エネルギーをイメージした曲線。 ●各等級に記載のU_A値は6地域の値を示す。 ●家のイラストの色が暖色に近づくほど「快適」であることを示す。「快適」は暑さ寒さや温度変化によるストレス、健康、毎月の暖冷房費等をトータルで評価した独自イメージ。

『等級6“^{プラス}”』をオススメする理由

健康のための”室温18℃”以上の空間がキープできる

等級6“^{プラス}”
の家
(連続暖冷房)



※各部屋の温度は、最寒日1月2日午前7時の各部屋の作用温度のシミュレーション結果より

冬の室温は18℃以上!

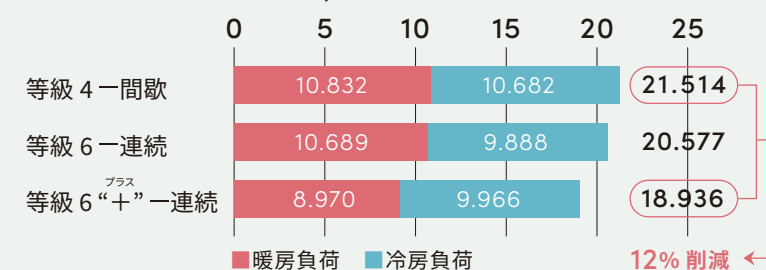
2022年4月より「建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行令」改正令において、「建築物環境衛生管理基準」で定められた「居室における温度の低温側の基準」が「18℃」に引き上げられました。WHO(世界保健機構)の報告書においても、室温18℃以上とすることが強く勧告されています。

体感温度の指標に使われるOT(作用温度)^{※1}を18℃に設定して独自にシミュレーション。24時間連続空調しているので、室温は18℃以上でほぼキープできています。洗面所との温度差も少ないので、**快適はもちろん、ヒートショック^{※2}予防にもつながります。**

※1 作用温度(OT:Operative Temperature)とは、室温と平均放射温度を加重平均して求めた仮想気温のこと ※2 ヒートショックとは温度差や寒さによって身体に危険を及ぼされること。

暖冷房エネルギーを少なく抑えながら、どこでも×ずっと”快適”

年間暖冷房負荷 [GJ/年]



暖冷房にかかるエネルギーを独自にシミュレーション。夏は暑い時間だけクーラーをつけ、冬は夕方まで暖房をつけるのを我慢(間歇運転)していた暮らし(断熱等性能等級4相当)よりも、年間の暖冷房にかかるエネルギー消費量は少なく済みます。

暖冷房エネルギーをあまりかけずに
家中をずっと快適“新常識”。

ベストバランスで“快適”な暮らしを実現

断熱等性能等級6

等級6“^{プラス}”

断熱等性能等級7

100%
(約410万円)

110%
(約450万円)

157%
(約640万円)

外皮性能に係る建材コスト(断熱材・窓・ドア)の比較

(取付・工事費は含まず)

等級6の初期コストに少しのプラスで、この先、10年後、20年後も、健康で“快適”な暮らしができて、しかも年間の暖冷房費もお得にできる。

初期コストがかかっても、
トータルで考えれば十分お得。

シミュレーション計算条件

・「HEAT20 設計ガイドブック | 2021」のシミュレーション条件を参考に温熱環境シミュレーションプログラムAE-Sim/Heat Ver.4にて算出
・気象データは6地域の東京
・OT18℃、夏冬連続空調使用条件にてシミュレーション
・各仕様のU_A値は、(断熱等性能等級4) 0.86W/(m²・K)、(断熱等性能等級6) 0.44W/(m²・K)、(等級6“+”) 0.37W/(m²・K)